

フランス共和国

(情報提供: Campus France - フランス政府留学局・日本支局)

フランスでの大学生活は、多文化で開放的な社会で「l'art de vivre (生活芸術)」という言葉が象徴するように、演劇、音楽、グルメ、旅行などを楽しむことができ、学生割引も充実しています。2021年には教育がGDPの6.8%以上を占め、教育と研究に多額の投資を行っています。このような政策により、世界で最も優れた高等教育システムのひとつである、フランスの大学やグランゼコールでは、過剰な授業料なしで質の高いプログラムを提供しています。そして、生活の中で国際言語であるフランス語が身につきます。

修業年限・学期

学士 (Licence)=3年、修士 (Master)=2年、博士 (Doctorat)=3年
国立大学は9月に年度がスタートし、交換留学プログラムや語学留学を除き、途中の入学は不可。私立はその限りではない。

入学条件・出願・選考

国立大学への出願は、Etudes en Franceを通す。詳細はHPで要確認。
学士課程1年目 (DAP) :
高校の卒業証明書が高等教育への入学資格を許可する場合、その証明書
高校の卒業証明書が高等教育への入学資格を許可するものではない場合、
高校の卒業証明書と高等教育機関への入学資格を証明する書類 (大学入試
の合格通知) の両方
学士課程2、3年目、修士課程 (Hors DAP) :
希望する課程や学年、学問分野に対応した課程が既修であることの証明書。
私立教育機関やグランゼコールは直接教育機関へ出願する。

留学にかかる費用の目安・滞在先

国立大学の年間登録料は、学士課程/2,850€、修士課程/3,879€、博士課程/391€。私立の教育機関はおおよそ年間3,000€から10,000€。1カ月の平均生活予算は地方で800€、パリで1,000€。文化施設や交通は様々な学生割引が充実しており、CROUS (地域学生生活センター) が運営する学生食堂では、3.30ユーロで、前菜・メイン・デザートのセットを食べることができる。家賃は国費奨学生が利用できるCROUSの際は250~600€、民間学生寮はパリで600€~1,200€、地方で400€~600€。長期学生ビザ保持者は住宅補助 (APL) が申請でき、家賃の3割程度が還付される。

PICK UP!

Campus France - フランス政府留学局は海外にてフランスの高等教育機関への留学を推進する公的機関で、外国人の留学生や研究者のフランスでの受入れを支援しています。日本支局は、東京のメインオフィスと京都の関西オフィスで業務を行っており、予約制で対面・オンラインで個別留学相談にも応じています。
<https://www.japon.campusfrance.org/ja/consultations>

お役立ちリンク



Campus France
フランス政府留学局・
日本支局公式HP

アンステイチュ
・フランス

在日フランス
大使館



ドイツ

(情報提供: ドイツ学術交流会 (DAAD) 東京事務所)

ドイツは留学先としてとても人気があります。ドイツの大学は世界中で高い評価を得ており、その学位は国際的に認められています。英語で学べる課程も年々増えていきます。例外もありますが、国立大学の授業料は基本的に無料です。

400を超える大学はどれも同様に高いレベルの教育・研究を行っており、大きく総合大学 (学術・理論志向)、
応用科学大学 (実践志向)、芸術・映画・音楽大学 (芸術系) の3種類に分けられます。

卒業を目指して留学することも、交換留学や語学研修の制度を利用して短期留学することもできます。個人で参加できるサマーコースも充実しています。

修業年限・学期

Bachelor (学士号) : 3~4年 (多くは3年)。Master (修士号) : 1~2年 (2年のところが多い)。
PhD (博士号) : 2~5年くらい (場合により異なる)。医師・薬剤師・法曹・教師の資格のための
Staatsexamen (国家試験) : 4~6.5年くらい (場合により異なる)。
冬学期(9月/10月)入学が多く、夏学期 (3月/4月)入学のところは少数。

入学条件・出願・選考

大学で学ぶ基本資格として Higher Education Entrance Qualification が求められます (www.daad.jp/ja/study-in-germany/admission-requirements/)。出願条件、時期、方法等は各大学の各課程により異なります。uni-assistを通じて出願するよう指示されている場合、大学の締切より8週間以上前にuni-assistに出願書類が到着しuni-assistの手数料が支払われていることが必要です。

留学にかかる費用の目安・滞在先

90日を超えてドイツに滞在するには学生ビザ/滞在許可が必要です。その申請には1年あたり11,904ユーロ (1か月あたり992ユーロ) 以上の資金を準備できることを証明する必要があります。国立大学の授業料は基本的に無料ですが、例外もありますので各大学のウェブサイトを確認してください。授業料の有無にかかわらずsemester fee (学期共済費) は学生全員が支払います。大学生の生活費は平均で月に842ユーロですが、都市によっては1,000ユーロを超えることもあります。家賃支出は平均410ユーロで、学生の多くは学生寮、WG (シェアフラット)、民間アパートに住んでいます。学生寮も含め部屋は自分で探さねばなりません。交換留学生は優先的に学生寮に入れる場合もあります。

PICK UP!

留学希望者は各大学の International Office に相談することができます。学生寮を含め部屋探しは難航する場合がありますので早くから情報を集めておきましょう。日本国籍の方はドイツ入国にビザは必要ありませんが、90日を超えてドイツに滞在する場合は必要書類を準備して入国後速やかに現地の外国人局で滞在許可を申請する必要があります。ビザについてはドイツ大使館・総領事館のサイト:<https://japan.diplo.de/>を参照。

お役立ちリンク



DAAD
東京事務所

DAAD
奨学金

X

Facebook

Instagram



©Kiyofumi Horita